



准教授

中森 泰三

ナカモリ タイゾウ



大学院環境情報研究院 自然環境と情報部門
理工学部 建築都市・環境系学科 地球生態学教育プログラム
nakamori-taizo-gc@ynu.ac.jp

http://soil-ecology.ynu.ac.jp/Nakamori/Taizo_Nakamori.html

環境学 環境解析学

放射線・化学物質影響科学

生態・環境
生物多様性・分類
遺伝子発現
土壤動物学
菌類学

【研究概要】

遺伝子の探索を行っています。

土壤ストレスの診断手法の開発に向けて、土壤動物のストレス応答遺伝子の探索を行っています。
菌類の殺虫作用や忌避作用などの生理活性作用を探索しています。

【アドバンテージ】

新規の遺伝子や生理活性作用の探索に重きを置いています。これまで、新規の高感受性カドミウム応答遺伝子の同定に成功しています。また、取り立てて注目されてこなかったキノコから、生理活性作用を見いだすことに成功しています。

【事例紹介】

土壤生物のストレス応答遺伝子発現を指標に土壤ストレスを検出できる可能性があります。

菌類の生理活性物質を利用した殺虫剤や忌避剤を開発できる可能性があります。



きのこの生理活性作用の探索



土壤動物を用いた環境診断

■ 相談に応じられるテーマ

土壤汚染の診断手法の開発
菌類の生理活性作用のスクリーニング
土壤生物の多様性モニタリング

■ 主な所属学会

日本土壤動物学会
日本菌学会
日本環境毒理学学会

■ 主な論文

『土壌小型節足動物トビムシ(*Folsomia candida*)における放射線応答遺伝子のスクリーニング』『放射線科学』2008.12

『Application of HiCEP to screening of radiation stress-responsive genes in the soil microarthropod *Folsomia candida* (Collembola)』『Environmental Science & Technology』2008.9

『生態毒理学におけるトビムシのゲノミクスの動向』『Edaphologia』2007.12

『Defensive role of cystidia against Collembola in the basidiomycetes *Russula bella* and *Strobilurus oshimae*』『Mycological Research』2007.11

『Repellency of injured ascomata of *Ciborinia camelliae* and *Spathularia flavidia* to fungivorous collembolans』『Mycoscience』2006.10

■ 主な著書

『菌類の事典(「動物に対する防御」を分担執筆)』朝倉書店, 2013